

名和中 3年 美柑 心美

訪問した中で、一番印象に残っている所は『ジェイコブスハウス』です。事故にあった人や病気になった人の家族が無料で宿泊できる施設で、私は職員さんの話を聞いてすごいなと思いました。

一番すごいなと思ったのは、職員さんが皆ボランティアで働いていて、給料がないという事です。自分の身を削ってでも人の役に立ちたいという気持ちがあるこの人達は本当に素晴らしいと思います。私がここで働いたとして、頑張ろうという気持ちになれるか自信がありません。だからこそ、ここにいる人達のようにはなれないけれど、日々の生活の中で困っている人などに声をかけたり、助けたりして、少しでも人の役に立てる人間になりたいと思いました。

テメキュラ市役所では、プレゼンテーションやスピーチ、合唱をしました。その日、家に帰って夕食を食べている時、マーガレットが「いいスピーチだったよ。みんなのスピーチを聞いて大山町に行ってみたくなったよ」と言ってくれて嬉しかったです。

その後、日本文化紹介で、私は折り紙チームだったけれど、最初少しだけ浴衣の着付けを手伝いました。

マーガレットに着付けをしてあげると、とても喜んでくれたので良かったです。そのあと、折り紙で鶴や兜を折ったりしました。自分の得意とする分野で日本の文化を伝えることができたので良かったです。

名和中 3年 船田 和

ホストマザーの友人が女優さんで、その女優さんが出演するミュージカルを見に行くことになりました。車で3時間ほどかけて会場に行きました。題目は「シユレック」です。歌やダンスで魅了され、言葉はほとんどわからなかつたけれど、とても感動しました。時間があつという間に過ぎました。

昨夜の感動がまだ残っている中、土曜日がやってきました。ホストファミリーとだけ過ごすファミリーファデーです。私たちは、「ナッツ・ベリー・ファーム」に行きました。スノーピーがいるテーマパークです。スノーピーが大好きな私の為にホストファミリーが計画してくれたので、とても嬉しかったです。会場は人が多く混雑していました。ここ数日アメリカで過ごして、アメリカのテーマパークなどはかなり警備が厳重だと気がきました。カバンの中身をチェックされたり、いくつか質問をされたり

します。一つ一つ大変だなと思いましたが、危険物を持ち込まれて事件が起きてしまうことを防ぐためには必要なことだと思いました。

途中から麗奈さんと彼女のホストファミリーと出会い、一緒に行動しました。アトラクションに並んでいる間、4人で各学校を紹介し合いました。話しているうちに、日本とアメリカの学校の違いも分かってきました。アメリカの中学校は弁当を持参したり、選択科目と必修科目があったりすることを知り、日本の高校のようだなと思いました。

大山中 3年 森田 李子

私にとっては、ホームステイはとても貴重な体験でした。英語しか使えない環境で、約一週間過ごすことは、とても難しかったです。私をホームステイで受け入れてくださったクレウイズファミリーはとても仲が良く優しい家族でした。お父さんは静かな人でした。でも、肉じゃがを食べたときに一番反応してくれたのはお父さんでした。それが本当に嬉しかったです。お母さんは本当に温かい人で、本当のお母さんのようでした。私のことをとても気遣ってください、お腹は空いていないか、眠くないか、とよく聞いてくださいます。

た。お腹は空いていないと伝えても、フルーツを出してください。そのときに、出してもらったさくらんぼがとても美味しくて、たくさん食べていると、それから何度となく、さくらんぼを出してくださいました。私のバディのアニカは、温かな人で、年齢が2歳しか離れていないとは思えないほど、大人っぽい人でした。お別れの時は、寂しくて、泣いてしまったのですが、アニカがハグをしてくれて、「また来年会えるよ」と言ってくれました。この家族に出会えて本当に良かったし、大人になったらまたこの家を訪ねたいと思いました。

ホストファミリーやテメキュラで出会えた人たちのおかげで、この研修は一生忘れられないものとなりました。この研修で、私は積極性や英語力を伸ばしていく必要性を感じました。



▲お世話になったテメキュラの人々と